



針金をつぶす（延展性を体感）

実習で使ういくつかの金属をハンマーで叩いて、金属の性質を体でつかむ活動です。

針金の種類



DIYショップにいけば、かなりの種類の金属を集めることができます。アルミニウム、銅、真鍮、ステンレス、鉄、鋼のほかにハンダも手に入ります。それらの針金を、ハンマーで叩きながら、金属の性質を体でつかんでいきます。「全部針金でしょ？あんまり変わらないんじゃない？」と言ってた人もやってみてびっくりです。

やってみて初めてわかる実感



この活動はかなり力強く叩きますので、ハンマーの使い方を知るにはうってつけの取組なのです。

「耳がいたくなるくらいうるさかった」という声も想像力ゆたかに発想すれば、労働安全衛生を考えるヒントになります。

「熱っつ！！」と反射的に離してしまうくらいに「叩いた直後はすごく熱い」ことは、なぜ切削油が必要なのかを実感として獲得できます。

金属がやわらかさ



「鋼がこんなに固いとは思わなかった」「ハンダは1回でつぶれた」など。実際にやってみた人にしかわかりません。

この活動を通して思う事は、金属の「やわらかさ」なのです。そんな金属“感”みたいなものが五感をとおして身に付きます。

まとめ



プリントに貼って提出です。

使用した鋼、真鍮はねじ回しの題材で使いますし、ハンダは電気実習でつかいます。